

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	茨城大学	個人・グループ名	上原恵唯太, 山崎卓, 葛山竣介	作品名	のびるのびるストップ!! 伸縮自在パーテーション
-----	------	----------	------------------	-----	-----------------------------

## 製作動機

私たちの研究室は, スペースや机の数が限られているため, 限られた空間や資源を有効に活用できないものかと考えていた。そこで, 研究室にある大きな机を利用し, それを4つに区分するパーテーションを設置することによって解決を図ろうと考えた。さらに, 上部に参考書などを置くことのできる棚をつけたり, 机の幅によって伸縮できる機能を備えたりすることで利便性も高めようと考えた。



## 利用方法

研究室にある大きな机を区分し, スペースを有効に活用する。



図1



図2



図3



図5



図4

## 工夫した点

- 1つの机だけでなく, 他の机にも使用ができるよう, 側板を左右に引くと, 棚部分の木材がスライドして伸縮するようにした。(図1, 2, 3)
- スライドする木材と側板は, 二枚ほぞ継ぎと木ねじ, L字金具を用いて補強を行い, 棚に物を置いたときに荷重に耐えられるようにした。
- 仕切るスペースも自由に変えられるよう, 中央の仕切り板は, 前後から固定できるようにし, ダボを用いて両側の仕切り板をつなぐことができるようにした。
- 側板と机に接する部分は, く字状にすることで, 机に固定されるようにした。(図4) さらに, この場所には, 負荷が多くかかることが予想されるため, 角材をほぞ継ぎと, 木ねじで固定することで強度を高めた。(図5)
- 長さを固定するために, 棚の背板の部分に穴をあけ, そこに棒材をいれるようにした。